

平成24年度

千葉市健康づくり推進協議会
第1回8020運動推進部会
議 事 録

保健福祉局健康部健康支援課

平成24年度千葉市健康づくり推進協議会第1回8020運動推進部会議事録

1 会議の名称

平成24年度千葉市健康づくり推進協議会第1回8020運動推進部会

2 開催日時

平成25年1月8日（火） 午後1時から午後2時30分

3 開催場所

千葉市美浜区幸町1-3-9
千葉市総合保健医療センター 4階 会議室

4 出席者

(1) 委員

藤本俊男委員（部会長）、関根務委員（副部会長）、木屋和彦委員、岡部明子委員、高橋秀夫委員、北山洋一委員、畠山一雄委員、木村多恵子委員、木川茂雄委員、藏屋勝敏委員、鶴澤禮子委員
（委員13名中11名出席）

※欠席委員

杉崎幸子委員、高野伸夫委員

(2) 事務局

山口淳一健康部長、窪田和子健康部技監兼健康支援課長、福田峰子健康支援課担当課長
千葉美江子保育運営課担当課長補佐、渡辺茂徳中央保健福祉センター健康課長、三橋和生保健体育課長補佐、増田幸一健康支援課長補佐

5 議題

- (1) 千葉市の歯科保健対策の現状について
- (2) 千葉市の歯科保健の課題と今後の取組みについて
- (3) その他

6 議事の概要

冒頭、事務局から、千葉市健康づくり推進協議会設置条例7条第7項の規定（資料1）により、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立している旨の説明があった。

- (1) 千葉市の歯科保健対策の現状について
事務局から千葉市の歯科保健対策の現状について説明を行った。
- (2) 千葉市の歯科保健の課題と今後の取組みについて
事務局から千葉市の歯科保健の課題と今後の取組みについて説明を行った。
- (3) その他
今後の審議日程について事務局から説明を行った。

7 会議経過

(1) 千葉市の歯科保健対策の現状について

事務局から、資料3-1「千葉市の歯科保健対策」及び資料3-2「千葉市の歯科保健対策の現状」により、ライフステージ別に歯科的特徴・問題点、歯と口腔の健康づくりの取組み内容、新世紀ちば健康プランの目標と最終評価、歯科保健対策事業実績について説明を行った。

また、事務局から、資料3-3「千葉市の歯科保健対策の現状（補足資料）」により、幼児期・学齢期の歯科保健の状況（う蝕有病者率、歯肉の要観察・要精検者の割合）、政令市におけるう蝕有病者率の比較（1歳6か月児・3歳児）、一人あたりう蝕本数の比較（3歳

児、12歳児)、平成21年度から開始された妊産婦歯科健診の実施状況(受診率・受診結果)、歯周疾患検診の実施状況(受診率)、口腔機能向上プログラム(事業内容、教室終了後の総合評価)、口腔ケアに関する認知度についての説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<委員>

新世紀ちば健康プランにおける高齢期の指標に「60歳で24本以上、70歳で22本以上の自分の歯を有する人の割合」とあるが、80歳の指標は何本か。教えていただきたい。

<事務局>

千葉市では調べていない。平成23年歯科疾患実態調査の結果では、3人に1人が8020を達成している。

(2) 千葉市の歯科保健の課題と今後の取組みについて

事務局から、資料4-1「千葉市の歯科保健の課題と今後の取組み(案)」により、千葉市の歯科保健の課題(子どものむし歯が多い、妊産婦・歯周疾患検診の受診率が低い、口腔ケアに対する普及啓発活動が十分ではない)に対するこれまでの取組み及び今後の取組みについて説明を行った。

また、資料4-2「保育所、幼稚園等におけるフッ化物応用の取組みに関するアンケート調査結果」により昼食後の歯磨き実施状況、フッ化物配合歯磨き剤のむし歯予防効果の認知度と使用状況、保護者に対するフッ化物応用の周知状況についての説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<委員>

幼稚園のアンケートの回答率が低いのに驚いた。千葉市では現在83園が幼稚園協会に加入しており3か月に1回定例会を実施しているので、その席を利用した啓発はどうか。

また、ホームページを活用し、幼稚園協会のホームページとのリンクや動画を使って歯磨きの仕方を映像で見せて保護者に啓発していくのもよいだろう。

<委員>

動画を見せる等歯磨きが大事なことはもちろんだが、子どもたちが安心・安全においしく物を食べて、子どもたちが健康に育つということまで考えてほしい。

<委員>

食育部会もあるので、むし歯だけでなく丈夫な歯を作るということを庁内で連携してやってほしい。

<委員>

小学校では、むし歯の予防に重点をおいているが、食べることも視野に入れていきたい。

<委員>

歯科医師会では、各学校に出向く啓発事業の中で昼食後の歯磨きを勧めている。水道の数が少ないことがネックになっている学校もあるが、小学校では歯磨きに関しては浸透してきているので、今後も頑張ってもらいたい。

<委員>

本校でも給食後の歯磨きを子どもたちは頑張っている。しかし、長期休暇になると実施率は下がってしまう。学校保健委員会の時に保護者に働きかけ家庭の協力を得たい。

<委員>

資料3-3に幼児期・学齢期におけるう蝕有病者率のグラフがあり、中1で有病者率がグンと上がっている。理由を考えていたが思い浮かばないので、教えていただきたい。原因が解れば対策の糸口としたい。

<委員>

口と生活習慣は関係が深く、中学校に入って生活リズムが変わり、保護者の管理が少なくなる時期である。実際に永久歯に生え換わっての前歯が磨けていない子も多く、前歯の磨き方の指導が徹底されていないことを考えさせられた。

<委員>

乳歯から永久歯に代わっていく混合歯列期から永久歯列期へと変わっていく堺目の中でこういう問題が出てきていると考えられる。また、歯肉炎に関しては低年齢化が進んでいる。現在、小学校高学年で歯肉炎は注目されている。

<委員>

資料4-2のアンケート調査より、公立保育所においてフッ化物応用の効果を知っている割合が100%だが、フッ化物を導入しているかということと予定なしがかなりの率である。必要なのはわかっているが導入していないという乖離があるがどういうことか。フッ化物配合歯磨き剤の値段が高いとかそういうことがあるのか。

<事務局>

保育所では、歯磨き剤無しで歯磨きすることはできるが、歯磨き剤を使用することは難しいと聞いている。

<事務局>

保育所は0歳児から就学前のお子さんまで預かっているので、保育所のお子さん全員にとするのは難しい。フッ化物の情報提供はできているが、いろんな保護者の方がいらっしやるので一斉に全員にやるのは難しい状況である。

<委員>

今までフッ化物応用については歯科医院で塗布してもらい、ずっともつ物なのかと思っていたが、フッ化物の配合されている歯磨き剤を使用するかどうかの話なんですね。費用、子どもにとって使いやすいものなのか、保健福祉局で推奨の物があるのか、一括購入して配布してくれるのか、保護者の負担を軽くしてくれるのか。

<委員>

歯科医師会から、フッ化物応用について説明させていただきたい。

フッ化物のむし歯予防効果は、歯を強くする、再石灰化をする、プラークを抑制するの3つの作用によるものである。また、応用方法はフッ化物配合歯磨き剤（殆どの歯磨き剤には配合されている。）を使う、フッ化物洗口（これは、ぶくぶくうがいをするもので、幼稚園・保育所・小学校等で行われている。実際千葉県では作草部保育園で実施されていてかなりの好成績を上げていていると聞いている。）をする、フッ化物歯面塗布を歯科医院でもらうなどがあり、世界的には、水道水の中にフッ化物を入れる方法がある。フッ化物応用は、むし歯予防に有効な手段だと歯科医師会は考えている。また、フッ化物応用は子どもだけでなく歯肉の下がってきた成人の根面むし歯の予防にも効果的であり、盛んに行われている。

<委員>

幼稚園等で進めていく場合、何が良いのか具体的に話をしてほしい。

<委員>

千葉県歯科衛生士会では、千葉県の委託事業であるフッ化物洗口普及事業で「フッ化物でつくりよう丈夫な歯を」リーフレットを作成した。千葉県のホームページからダウンロードできるので活用してほしい。

<委員>

フッ化物についてはお茶等の食品の中にも含まれている。わからないことがあれば、歯科医師会または、行政の歯科担当者に聞いてほしい。歯科医師会では、フッ化物応用協力医を推薦している。ホームページに情報を載せているので御覧いただきたい。

<委員>

孫がフッ化物配合歯磨き剤を使用している。今のお子さんはあごが小さく、全部生えそろわないとの話も聞く。むし歯予防だけでなく、噛むことの大切さ等の情報も含めて情報提供を各家庭にしてほしい。ホームページは全家庭がアクセスできるわけではないので、お願いしたい。

<委員>

歯科医師会で一昨年全国むし歯予防大会を開催した。フッ化物の応用については反響が大きかった。これからも講演会、資料等で情報提供していきたい。

<委員>

資料4-2より、公立保育所では昼食後の歯磨き実施率が100%だが、私立保育所等ではない施設がある。公立ができるのなら、私立等の施設もできるのではないか。良い習慣を身につける頃だと思うので、行政の指導で100%になるのではないだろうか。

<事務局>

施設によっては、歯ブラシを持ってこない子がいる。歯磨きが危ないという保護者がいるところもある。

<委員>

業界団体と連携をとって歯磨きを実施してほしい。

<委員>

中学校では、養護教諭が働きかけても歯ブラシを持ってこない子がいる。子ども自身に少なくともむし歯予防の知識をもってもらい、実践できるように指導していきたい。

<委員>

学校には校医がいるので、協力して進めてほしい。

<委員>

資料3-2から歯周疾患検診の受診率が下がっている。歯周疾患検診だけ取り上げても難しいので、特定健診の中に口腔ケアを上手く挟み込んでもらい、しっかり噛むことが健康につながるといったキャンペーンをしていくことが大事ではないだろうか。検診事業とマッチングさせていくのはいかがか。

<委員>

60歳以上の方は歯の大切さを実感しているのか歯科受診をしているが、働き盛りの方が受診していない。壮年層が受診しやすい環境を整えてほしい。

<委員>

歯周病と生活習慣病の関係が知りたい。認知症との関係もあるのでないか。歯周病の予防のために受診しているが、歯周病という診断はされない。歯周病と言われればこれは大変なこととなるが、歯周病と生活習慣病の話に高齢者は非常に興味をもっている。教えていただければ、自ら進んで口腔ケアに取り組むのではないだろうか。

<委員>

学校においては、不登校の児に関して歯科健診等を実施しているか。

<委員>

全ての学校とは言えないが、時間をずらす等工夫をして実施している。

(3) その他

次回の部会は、次年度に予定していると事務局から説明を行った。

以上のとおり議事を進め、午後14時30分に閉会した。

以上

平成25年1月8日（火）開催の平成24年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回8020運動推進部会の議事録として承認し、署名する。

千葉市健康づくり推進協議会 8020運動推進部会長

問い合わせ先 保健福祉局健康部健康支援課
電話 043-238-9926
F A X 043-238-9946
電子メール shien.HWH@city.chiba.lg.jp